

いすみ市立小中学校情報教育推進事業
いすみ市立小中学校学習用端末等 I C T 機器活用支援業務
審査講評

令和6年3月

いすみ市立小中学校学習用端末等 I C T 機器活用支援業務
候補者選定委員会

1 事業名称

いすみ市立小中学校学習用端末等 ICT 機器活用支援業務（以下「本事業」という。）

2 事業場所

小学校 9 校

いすみ市立夷隅小学校（千葉県いすみ市深谷 127 番地）
浪花小学校（千葉県いすみ市小沢 1157 番地）
大原小学校（千葉県いすみ市大原 8530 番地 3）
東海小学校（千葉県いすみ市若山 1042 番地）
東 小学校（千葉県いすみ市山田 460 番地）
長者小学校（千葉県いすみ市岬町長者 330 番地）
中根小学校（千葉県いすみ市岬町中滝 954 番地）
太東小学校（千葉県いすみ市岬町椎木 408 番地）
古沢小学校（千葉県いすみ市岬町岩熊 563 番地 2）

中学校 3 校

いすみ市立国吉中学校（千葉県いすみ市国府台 1552 番地）
大原中学校（千葉県いすみ市大原 7400 番地 12）
岬 中学校（千葉県いすみ市岬町椎木 1370 番地）

3 事業期間

事業期間は、令和 6 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日までとする。

4 事業目的

本業務は、いすみ市立小中学校全 1 2 校（小学校 9 校 中学校 3 校）において ICT 機器の活用促進、教職員の ICT 活用スキルの向上及び ICT を活用した授業を推進するため ICT 支援員を配置するものである。

最も優れた提案を行った者は、優先交渉権者として本市との契約を締結したうえでプロポーザル提案の内容を基に、本事業を実施する。

5 応募者数

1 者

6 優先交渉権者

株式会社 SOTOBO I SUMI

7 候補者選定委員会の経緯

いすみ市立小中学校学習用端末等 I C T 機器活用支援業務候補者選定委員会（以下「候補者選定委員会」という。）の開催日と主な議題は、以下のとおりである。

選定委員会	開催日	審議・審査等の事項
第1回	令和6年3月8日	<ul style="list-style-type: none">・委員長及び副委員長の選任・候補者選定委員会開催までの経過・参考見積金額の事前確認結果について・審査項目と審査評価の方法について・提案内容についての意見交換
第2回	令和6年3月18日	<ul style="list-style-type: none">・プレゼンテーション及び質疑応答・意見交換及び選定評価・事業者選定結果・答申の作成方針について

8 選定方法

いすみ市立小中学校学習用端末等 I C T 機器活用支援業務に係る公募型プロポーザル審査要領（以下「審査要領」という。）に基づき、事業者名を伏せたうえで、書類・プレゼンテーション審査により、事業遂行能力、事業計画内容、地域貢献、価格等を総合的に評価し、採点合計点の平均が最も高い参加者を優先交渉権者として選定する。

書類・プレゼンテーション審査に進んだ応募者が1者であった場合は、技術評価の平均点数が満点（160点）の60%以上であれば、当該応募者を優先交渉権者として選定する。

9 審査体制

学識経験者、教育長及びいすみ市校長会長で構成される候補者選定委員会が、審査要領に基づき応募者から提出された提案書の審査を実施し優先交渉権者を選定する。

候補者選定委員会の委員は、以下のとおりである。

10 審査結果

(1) 技術評価点の算出

審査要領に基づき、各評価項目を評価基準に従い採点を行う。

評価項目は、事業遂行能力に関する項目が1項目、事業計画内容に関する項目が

役割	氏名	経歴等
委員長	磯貝 正尚	元千葉県農林水産部長
副委員長	荘司 和樹	(株)建築イノベーション代表取締役（ICTアプリ開発）
委員	金網 久夫	いすみ市社会教育委員
委員	赤羽 良明	いすみ市教育委員会教育長
委員	小高 太	いすみ市立大原小学校長

5項目、業務の品質向上・組織管理に関する項目が2項目、市内事業者の協力体制に関する項目が1項目で構成される。

評価は、5段階の基準に従い行う。

以下に、候補者選定委員会による技術評価点を示す。

評価項目	評価の視点	採点 (株)SOTOBO ISUMI	配点
業務遂行能力			
(1)本業務の実施体制	・本業務の実施体制として、事業を遂行するうえで十分な体制が整っているか。	16.0	20
業務計画内容			
(1)授業支援	・ICT機器を使った授業を円滑に行うための役割や工夫がなされているか。	17.0	20
(2)授業提案	・ICT機器を使うことによる授業の教育効果向上、授業改善、教員への提案や働きかけが十分計画されているか。	18.0	20
(3)研修支援	・教員のレベルに応じた研修対応、ニーズに応じた研修対応や支援内容が計画されているか。	17.0	20
(4)独自提案	・ICT支援事業について、いすみ市のICT教育の発展について独自のビジョンが計画されているか。	15.0	20
(5)ICT支援員配置計画	・ICT支援員の各学校への配置について、児童生徒数に応じた適正な支援員数が計画されているか。	7.5	10
業務の品質向上・組織管理			
(1)品質向上の具体的取組	・ICT支援員として、サービス品質を向上させるための具体的な取組が計画されているか。	17.0	20
(2)勤務管理、報告体制	・ICT支援員の勤務の管理、業務報告を行う仕組みや運用が提案されているか。	7.5	10
市内事業者の協力体制			
(1)地域貢献	・ICT支援業務を通して、どのように地域に貢献していくか効果的な取組が計画されているか。	13.0	20
合 計		128.0	160

審査の結果、株式会社SOTOBO ISUMIにおける技術評価点は128.0点となった。

(2) 価格評価点の算出

審査要領に基づき、予定金額の上限金額の範囲内であることを確認した後、算定式に従い採点を行う。

なお、上限金額を超える場合は、失格とする。

予定金額の上限金額は、35,640,000円（税抜）としている。

以下の算定式を示す。

$$\text{価格評価点} = 40 \text{点} \times \frac{\text{提案者のうちの最低見積金額}}{\text{提案者の見積金額}}$$

以下に、価格評価点を示す。

事業者	見積金額（税抜）	価格評価点
株式会社 SOTOBO ISUMI	32,400,000円	40

(3) 採点合計点の算出

審査要領に基づき、技術評価点、価格評価点の合計点を採点合計点として算出する。

以下に算定式を示す。

$$\text{採点合計点} = (\text{技術評価点}) + (\text{価格評価点})$$

事業者	技術評価点	価格評価点	採点合計点
株式会社 SOTOBO ISUMI	128.0	40.0	168.0

(4) 優先交渉権者の選定

応募者が1者の場合、技術評価の平均点が満点（160点）の60%以上であれば、当該応募者を優先交渉権者として選定することになっている。

株式会社SOTOBO ISUMIの技術評価点は、96点以上の128.0点であるため、優先交渉権者とする。

11 総評

本候補者選定委員会は、提出された技術提案書を審査要領に基づき、公正かつ慎重な審査を実施し、更に、提案内容が本事業にふさわしいか協議した結果、本事業を適切に遂行できると判断し、株式会社SOTOBO ISUMIを優先交渉権者に選定した。

株式会社SOTOBO ISUMIの選定理由として、

- ①業務遂行能力に関する事項では、中心となる事業者と連携する事業者が、広域的・先進的かつ実践経験のある企業のため、その豊富な知見及び事例の活用とサポートを期待できること。
- ②業務計画内容に関する事項では、全国の豊富な事例をもとに各教員に適切な助言が可能であることや、いすみ市が導入している1人1台端末の仕様を熟知し、導入されるソフトを最大限に活用した授業提案が可能であること、支援員が不在の時でもICT機器の操作方法が分かるマニュアルの整備を図ることなど、各学校に十分な支援ができる工夫がなされていること。
- ③市内事業者の協力体制に関する事項では、市内の地域商社である株式会社SOTOBO ISUMIを中心とした連携体制をとり、ICT支援員も地域人材の活用を予定していること。

等から、総合的に各委員の評価も高評価となった。

提案された株式会社SOTOBO ISUMIには、限られた期間内で技術提案書の作成に尽力いただいたことに、敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げます。

今後、優先交渉権者は、いすみ市と事業契約を締結し事業を進めていくことになると思われるが、その際、各評価項目の審査結果及び下記要望事項を十分に踏まえ、いすみ市及び各小中学校と良好なパートナーシップを築き、より良い事業実現のため、提案内容を着実に実行していただけるよう期待する。

【要望事項】

- ① 本業務は、教員の資質・能力の向上が必須である。そのため、ミニ研修等、教職員個々の実態に応じたきめ細かな研修を実施し、教員のICT機器活用のレベルアップを図るよう努めること。
- ② 各学校、各学級のICT活用について格差が解消されるよう、各学校の実態に応じた支援計画を作成し、きめ細かな支援に努めること。
- ③ 事業を進めるにあたって、市内小中学校のICT活用事例を各学校で共有できる環境整備に努めること。
- ④ 各学校の状況に応じた校務のICT化を提案し、教員の働き方改革に貢献するよう努めること。